

# Form Pat



設備カルテ診断システム

現状／悩み

設備保守で  
こんなお悩み  
ありませんか？



保守部品の  
交換頻度が  
おかしい

交換部品が  
明確に  
なっていない

部品交換時期を  
早く  
把握したい



作業者の悩み

保守メンテは  
日報の手書きが  
面倒



入力者の悩み

手書きの  
文字は  
読みづらい



管理者の悩み

予兆の  
把握が  
しづらい

## POINT

生産ラインにおいてマシンメンテナンスは不可欠です。メンテナンス時に交換された部品耐久性／部品型式／作業者等を的確に把握する事で、ある程度予兆は管理できます。

## 予兆が予測できると

- 1- ライン毎の保守期間前に交換部品を手配する事ができます。
- 2- 交換部品毎に交換時の確認ポイント習得を促す教育ができるようになる事で熟練者に頼らない作業分配ができます。(スキルアップにもつながります)
- 3- 適格な時期に部品交換を実施するとライン毎の生産性を安定化させる事ができます。(良品率のUP、マシンアラームの低減等につながります)

上記内容を実現する為に、株式会社平山が推奨する  
設備カルテ診断システムのご検討をいかがでしょうか？



設備カルテ診断

2018/03/23 15:47:52

<b>設備詳細</b>	<b>設備担当</b> 尾張 一郎 12-00050	<b>指示書 No.</b>	Hirayama-7y901
<b>設備名称</b>	NC 旋盤 1 号機	<b>指図組立数</b>	3,000
<b>作業区分</b>	A 棟 第 12 作業区	<b>組立予定設備名称</b>	NC 旋盤 1 号機
<b>設備コード</b>	NC-12399	<b>作業開始予定時刻</b>	2018/10/20 15:00:00
		<b>作業終了予定時刻</b>	2018/10/20 17:30:00
		<b>生産状態</b>	未着手

**部品交換前写真** 部品交換前撮影日付 2018/03/23 15:53:48 時刻

**部品交換後写真** 部品交換後撮影日付 2018/03/23 15:53:50 時刻

**部品交換理由記述**

確認印

NC 旋盤加工中に穴削り出しの精度が出なくなり、歩留まり解消の為ドリルの刃を入れ替えた。

^  
v

システム導入後



設備カルテ診断システムのメリット

1. 部品交換業務報告書等を紙ベースで電子化作成
  - 紙の巻き込み、紛失を防止できます。現場に紙の媒体を極力持ち込まずに済みます。
  - 業務報告書が電子化される為、集計作業 / 打込み作業 / 保管作業等が必要なくなります。経費削減効果が期待できます。
  - コメントの記述がキーボード / 音声入力できる為作業員毎の判別がしにくい文字がなくなります。報告ミスを大きく軽減できます。
2. 業務報告後の効果
  - 過去の作業内容を設備名称 / 交換部品名等から現場で検索 / 閲覧できる様になります。作業時の交換理由や注意内容等を皆で共有化できます。
  - 交換部品や部品の設置個所等が画像化される事で不慣れな作業員のミスを減らす効果があります。

FormPat 動作環境

サーバー	オペレーティングシステム	Windows Server 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 SP1 / 2008 SP2
	データベース	SQL Server 2017 / 2016 / 2014 / 2012 / 2008 R2 / 2008 それぞれの Express を含む。
クライアント	オペレーティングシステム	Windows 10 / 8.1 / 8 / 7、iOS、Android
	ブラウザ	PC-Chrome、Edge、IE11、Firefox / iPad & iPhone-Chrom、Safari
オペレーティングシステム	Windows10 / 8.0 / 8 / 7	※「Formpat」はデジタルアシスト株式会社の商標です。